町田市議会
第３回定例会
2020.8.30～9.30

中学校給食「新たな方式」の検討へ
市民の声・議会の論戦が動かした

日本共産党市議団

新型コロナ感染症から市民の命とくらし守れ
自己責任求める新自由主義からの転換要求

全員対象、配膳方式も含めて検討

日本共産党の田中美穂市議の一般質問に対して、中学校給食について「新たな方式を検討する」との答弁（学校教育部長）がありました。検討にあたっては全員給食や配膳方式を含めて考えるとのことです。田中美穂市議は検討に早期着手することを求めました。11月の学校給食問題協議会で「新たな中学校給食の提供方式」について協議されます。

小中一貫校ゆくのき学園の中学校給食（カレーライス）（2019年1月に視察）

コロナ禍で給食の役割が増す

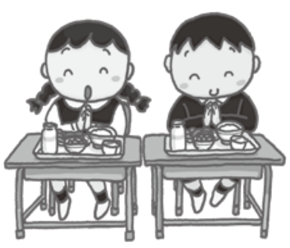
町田市の中学校では、選択制のデリバリー給食が実施されていますが、利用する生徒が年々減り続けてきました。

これまで市は「現在のデリバリー方式はニーズに合っているので、検討はしない」という姿勢でした。昨年度は、７千万円の予算で無料試食会を実施したものの利用者が増えず、利用率が９.６％まで落ち込みました。また、コロナ禍において、委託業者が災害時に対応できないということも明らかになりました。さらに一斉休校の間の子どもの栄養の確保が心配された中、給食の役割が見直されています。

広く多世代から実現を求める声

都議選、市長市議選でも「中学校でも、小学校のようにみんなで食べられる温かい給食を」と、たくさんの方から声が寄せられ、２０１８年の市議会には２万３千人もの請願署名が寄せられました。その後のパブリックコメントや市のアンケートでも、中学校給食についての要望が寄せられるなど、市民の皆さんの願いと運動、なにより中学生の声が市政を動かしてきました。

市議団はみなさんとともに、小学校のような全員給食の実現へ、引き続き力をあわせます。



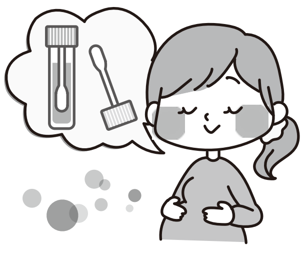
市民の声と運動が大きく動かしています。学校給食は教育の一環です。

中学生の意見を聞いて、小学校と同じような中学校全員給食を一日も早く実現するために、党市議団と連携してがんばります。

都議会議員 池川友一

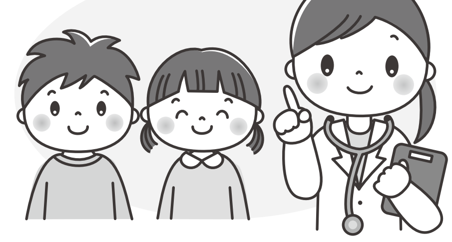
妊婦さんのPCR検査実施
65歳からインフル予防接種無料に

日本共産党市議団は、新型コロナ感染症から市民の命や暮らし、営業を守るために、議会での一般質問や予算審議、これまでの21回の要望書を通じて予算化や改善を求めてきました。第３回定例会では、安心して出産できるよう妊婦さんのPCR検査の実施や、９月までの予定だったPCR検査センターを延長する予算が実現しました。そのほか本予算には、困窮者への住居確保給付金を増額する予算、特別定額給付金10万円を４月28日から来年４月１日までに生まれた新生児に支給する予算なども盛り込まれました。また、日本共産党都議団が要望していたインフルエンザ予防接種の助成を東京都が実施することになり、町田市は10月12日から１月31日まで65歳以上の人が無料で接種できます。引き続き、PCR検査の拡充など新型コロナ感染症対策や暮らしや営業を守る施策を実現するためにがんばります。



中学３年までの医療費助成所得制限が撤廃！

中学３年生までの『義務教育就学児医療助成制度』の所得制限を、2021年４月１日から撤廃する条例改正が全会一致で可決されました。これにより、すべての子どもが助成の対象となり、窓口負担200円のみで、入院・調剤は無料になります。新たに７千人が対象となり、市の財政負担は１億９千万円を見込んでいるとのことですが、23区のように200円の窓口負担をなくすには、あと７千万円/年です。日本共産党市議団は、子ども医療費の完全無料化を求めています。



日本共産党
町田市議団ニュース
2020年11月号
発行●日本共産党町田市議団
町田市森野2-2-22
電話●042-724-4030
FAX●042-724-4042
メール●jcp.machida.shigidan@gmail.com
日本共産党町田市議団 検索